

## 名古屋大学 学際統合物質科学研究機構特任助教 公募

名古屋大学学際統合物質科学研究機構では、下記の要領で教員を公募します。

記

### 募集人員

特任助教 3名

### 所 属

名古屋大学 学際統合物質科学研究機構(IRCCS)

### 専門分野

物質科学・生命科学

### 業務内容

学際統合物質科学研究機構(IRCCS, 令和4年7月新設)では、4大学(名古屋大学, 北海道大学, 京都大学, 九州大学)が連携して、物質創製化学分野の融合フロンティアの開拓に挑むとともに、国際・異分野・地域・産学官の連携を強力に進めている。本機構の運営に携わるとともに、触媒, マテリアル, バイオ機能に関わる学際研究に取り組む。本機構に参画する4大学の研究室のうち, 名古屋大学を含む2つの大学の研究室に所属しながら大学間での共創研究を進める(名古屋大学を主所属とするクロスアポイントメント<sup>\*1</sup>雇用に基づき研究を推進する。)

特に、IRCCSが目指す以下の重点研究分野・課題のいずれかを推進することが望ましい。

- (1) 持続可能性社会の実現に向けた分子変換技術の創出
- (2) 原子配列や反応空間の制御による高活性・高機能触媒系の創出
- (3) 反応空間の観察とシミュレーションによる物質変換機構の解明
- (4) 分子・材料の高度機能発現を指向した精密設計と合成
- (5) 励起状態空間の制御による機能性分子・高分子系の創出
- (6) 特異ナノ構造・空間の制御・活用による機能創出
- (7) 新規なバイオ機能・分析の実現を指向した分子設計と応用

### 応募資格

以下の条件を満たす研究者:

- ・ 博士の学位を有する者, または同等の能力を持つと認められる者。
- ・ 大学間の連携および学際研究に取り組む意欲があること。
- ・ 学部・大学院教育に積極的に取り組む意欲があること。

## 待遇等

- ・勤務形態:常勤(任期付正職員)・裁量労働制
- ・任期:着任日から2023年3月末日 年度ごとに評価の上, 更新可能。最長2027年3月31日まで。
- ・給与:年俸制(東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程に定める。)

## 着任時期

決定後, できるだけ早い時期

## 応募書類

以下を日本語または英語で作成の上, 提出してください。

- ・履歴書(顔写真添付)
- ・業績リスト(招待講演及び競争的研究資金の獲得状況を含む。)
- ・主要論文別刷(5編以内, コピー可)
- ・これまでの研究概要(A4で2枚程度)
- ・希望する名古屋大学の研究室<sup>\*2</sup>と連携他大学の研究室<sup>\*3</sup>, クロスアポイントメントで進める今後の研究の方向性や内容, および教育に対する抱負(A4で1-2枚程度)
- ・意見を伺える方2名の氏名, 所属, 連絡先

## 選考方法

書類選考の後, 選考通過者に面接審査を実施

## 応募書類の提出方法

上記の応募書類を一つのPDFファイルにまとめた上で, 電子メールに添付し, 以下の提出先に送信してください。その際, 件名を「学際統合物質科学研究機構 特任助教応募」としてください。なお, 応募書類受領後に受領通知のメールを送信しますので, 必ずご確認ください。

電子メールでの提出が困難な場合は, 郵送による提出を受け付けます。郵送の場合は, 「学際統合物質科学研究機構 特任応募書類 在中」と朱書きの上, 簡易書留又は配達記録郵便にて送付してください。

## 応募締切

2022年10月28日(金)

## 応募書類の提出先及び問合せ先

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学学際統合物質科学研究機構(IRCCS) 斎藤 進

Tel: 052-789-5945 E-mail: saito.susumu.c4@f.mail.nagoya-u.ac.jp

## その他

- ・面接のための交通費は自己負担とします。なお, Zoomを使用して面接を実施する場合は

あります。

- ・ 応募書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。
- ・ 名古屋大学は、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献及び人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
- ・ 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、下記の「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

以下 URL より様式1をダウンロードのうえ提出してください。

[https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/facilities\\_use/files/](https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/facilities_use/files/)

※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail: anzen@aip.nagoya-u.ac.jp

\*1 [東海国立大学機構クロス・アポイントメント制度に関する規程](#)

\*2

名古屋大学(14 研究室・グループ)：

名古屋大学理学研究科：田中研究室，唯研究室，伊丹研究室，菱川研究室，阿部研究室，  
荘司研究室，山口研究室，斎藤グループ，阿波賀研究室，柳井研究室

<https://www.chem.nagoya-u.ac.jp/staff/index.html>

名古屋大学工学研究科：大井研究室，忍久保研究室，松田研究室，山下研究室

<https://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/archive/apchem/labs-j.html>

\*3

北海道大学触媒科学研究所(7 研究室)：

清水研究室，中野研究室，朝倉研究室，長谷川研究室，中島研究室，福岡研究室，  
浦口研究室 <https://www.cat.hokudai.ac.jp/members.html>

京都大学化学研究所(7 研究室)：

島川研究室，金光研究室，大木研究室，中村研究室，若宮研究室，寺西研究室，  
二木研究室 [https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/sites/research\\_activities/chemist/](https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/sites/research_activities/chemist/)

九州大学先導物質化学研究所(9 研究室)：

友岡研究室，吉澤研究室，佐藤研究室，山内研究室，國信研究室，小椎尾研究室，  
谷研究室，菊池研究室，田中研究室

<https://www.cm.kyushu-u.ac.jp/laboratory/>